

心理的負荷評価表の見直し等に係る論点について（案）

1 現時点における医学的知見からみた判断指針の合理性

- 現時点における医学的知見からみて、判断指針は妥当なものであるか（判断指針のほかに判断基準となるものはあるのか）。

2 心理的負荷評価表に係る業務上の出来事の追加・修正

- 心理的負荷評価表の出来事として追加又は修正の対象とすべき項目は、勤労者を対象に実施した14、18年度の委託研究結果（以下「委託研究結果」という。）によることが適当であると考えているが、他に適切なストレス研究があるか。
- 委託研究結果により得られた93項目のうち、出来事の追加又は修正の対象とすべき項目の考え方

3 「心理的負荷の強度を修正する視点」の見直し

- 上記2の検討により追加すべき出来事について、新たに修正する視点を追加するとともに、既存の出来事の修正する視点についても修正が必要か。

4 「出来事に伴う変化等を検討する視点」の見直し

- 出来事後の状況が持続する程度を検討する観点から、現行の検討する視点について修正等を行うべきか。
- 出来事に伴う変化等を的確に評価するため、現行の項目の例示のみではなく、新たに具体的な評価のポイントを示すべきではないか。

5 その他

- 委託研究結果を踏まえ、判断指針別表2「職場以外の心理的負荷評価表」についても見直しを行うべきではないか。